

# 戦後70年、歴史から学び 激動する情勢に 立ち向かおう！

# 港合同

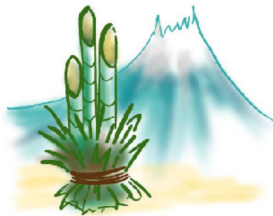
全国金属機械労働組合 港合同  
大阪市港区南市岡3・6・26  
TEL 06・6583・4858  
FAX 06・6583・4600

## 謹賀新年

港合同 委員長 中村吉政

港合同組合員の皆さん。  
新年あけましておめでと  
うございます。

二〇一五年の幕開けに  
際し港合同執行委員会を  
代表してご挨拶申し上げ  
ます。



昨年師走の十四日、衆  
議院選挙の投票日でした。  
史上最低の投票率の中で、

共産党が大幅に議席を確  
保したものの自公政権で  
多数を制しました。大阪  
では、維新の党は小選挙  
区で多少の変化がありま  
したが、比例復活により  
数の上では大きく減員と  
はなっています。

又、民主党が大阪府の  
中で候補者を出すことが

昌一金属支部	田中機械支部	協和金属支部	矢賀製作支部	大熊鉄工支部	協和機工支部	港高周波支部	関西警備支部	城北地域分会	ネグロス電分会	南労会支部	アート・アド分会	サンコー分会	イツツヤ分会	NRB分会	コーヨー急送分会	大輪産業分会	大阪市争議団	レインボー分会
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	-------	----------	--------	--------	-------	----------	--------	--------	---------

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

できないという現実に向  
面し、多くの市民は「公  
明党か共産党か」という  
選択肢を突き付けられた  
区がありました。

全国的に関心が薄く最  
低の投票率となり、自公  
両党は憲法改正の発議に  
必要な三分の二を上回る  
三二六議席を獲得しまし  
た。

師走選挙、理由の曖昧  
な選挙、受け皿のない選  
挙が低投票を招いたのだ  
と思います。

本土では自民党の勝利  
でしたが、沖縄では全区  
で辺野古基地建設反対派  
が勝利しました。

オール沖縄対自民党と  
いう構図が基地反対の運

動を築いていくでしょう。  
私たちも大阪の地で沖縄  
の闘いに連帯していかな  
ければならないと思いま  
す。

港合同の事務局である  
田中機械支部事務所の入  
り口に毎年掲げられるス  
ローガンがあります。

今年のスローガンは、  
「戦後七十年、歴史から  
学び、激動する情勢に立  
ち向かおう!」という文  
章です。

第二次安倍政権が誕生  
して、日本は大きく変わ  
りました。

昨年十二月「特定秘密  
保護法」が施行されるこ  
ととなり、又、昨年七月

一日には「集団的自衛権

の行使容認の閣議決定」  
を行い、憲法九条の改正  
を視野に入れた国政運営  
がされており、転換期を  
迎えています。

何よりも大事にしなけ  
ればならないアジアの国々  
と、他人行儀の様相では  
真の善隣友好関係は築か  
れません。

安倍総理自身が、過去  
の侵略戦争を認め、謝罪  
し、償いも含めた中でし  
か信頼関係は築かれない  
のです。

総理大臣たるものは個  
人の信条で政治をせず、  
恒久的な平和の構築を本  
年こそは示さなければな  
らないのです。

非正規労働者が四割近

い格差社会の中、労働法  
制の改悪が本年一月から  
始まる国会に提出されよ  
うとしています。

派遣法改正など、非正  
規雇用が拡大し雇用不安  
に歯止めがかかりません。

戦後七十年、阪神淡路  
大震災から二十年、さま  
ざまな節目の年に港合同  
に寄せられる課題はたく  
さんあります。

弁天町駅頭での労働相  
談ピラは三年目に入りま  
した。

今のところ具体的な成  
果はありませんが、港地  
域における労働組合とし  
ての情宣活動は長い目で  
見れば意味のある行動で  
す。

昨今の相談の特徴は大

きく組織を展開するよう  
な事案が少なく、ヒラに  
書いたり宣伝したりでき  
ない相談が多くあります。

先人らが築いてきた港  
合同という財産を私たち  
は更に前進させ、組織拡  
大に向けて闘いをすすめ  
なければなりません。

原発事故の収束もまま  
ならない現実の中で再稼  
働が現実化されており、  
安倍首相のペースに全体  
が引き込まれています。

私たちは、働く者こそ  
が時代を担うのだと自覚  
を持ちながら、引き続き  
多くの仲間と連帯し前進  
しましょう。

# 各支部・分会から年頭挨拶

## 地域闘争の前進を糧に組織強化・拡大に向け 二〇一五年、港合同一丸となつてがんばろう！

### 時代の分水嶺に立ち向かおう！

田中機械支部

敗戦七〇年、今年は国  
内外政治、経済にとって  
意味深い年になりそうだ。

もちろんその根源的な  
ものは、「日本を取り戻  
す」「強い日本」「戦後  
レジュームからの脱却」  
などの情緒的言動で歴史  
に名を刻み、長期政権を  
目指そうと欲してやまな

い安倍首相のDNAに根  
差す。

安倍にとつての戦後レ  
ジュームとは何か、誰か  
ら何を取り戻すのか。対  
米協調を掲げ、その実、  
対米従属の一点において  
貫かれてきた「戦後安全  
保障政策」を堅持しなが  
らの上記スローガンは自

己矛盾に満ちている。

元来、一つの歴史の事  
実においても、よつて立  
つ観点によつて、評価は  
一八〇度異なつてしまふ。

そもそも、「自存自衛  
の戦争か、侵略戦争か」  
「終戦なのか、敗戦なの  
か」「GHQによる押し  
つけ憲法なのか、世界に  
冠たる平和憲法なのか」  
等々である。

しかし前者はいずれも

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！